

モニタリング結果報告書

施設 山岳スポーツセンター

指定管理者 財団法人神奈川県公園協会

施設所管課 スポーツ課

(平成 22 年度 下半期)

管理運営状況総括

1 月例報告書によるモニタリングの概況

報告月	受理日	確認通知日	備考（確認事項等）
10月	11月12日	11月25日	月報により適正に行われていると認められる。
11月	12月14日	12月28日	月報により適正に行われていると認められる。
12月	1月14日	1月27日	月報により適正に行われていると認められる。
1月	2月10日	2月28日	月報により適正に行われていると認められる。
2月	3月10日	3月31日	月報により適正に行われていると認められる。
3月	4月11日	4月28日	月報により適正に行われていると認められる。

2 指定管理者の選定理由にある取組み等の実施状況

(1) 提案内容の達成度

A：提案を上回る B：提案どおり C：提案を下回る

(2) 実施状況等

〔指定管理者の選定に際して、サービスの向上や利用促進の観点から提案された各取組み等について、提案内容の要旨とそれに対応する形で実績又は今後の見込みを記載する。〕

<提案内容の概要>

秦野戸川公園、ビジターセンターとの三館共同のイベント開催による利用促進。

<実施状況>

2月：冒険探検自然体験 32名

<提案内容の概要>

県山岳連盟と連携した子供向けのクライミング教室を開催し、クライミング愛好者の裾野の拡大と安全教育の推進を図る。

<実施状況>

10月：県民スポーツ週間(親子でチャレンジ・クライミング) 43名
県民登山 中止
11月：神奈川県高体連クライミング部新人大会 41名
1月：神奈川県高体連新人登山大会 53名
3月：冬山登山教室 13名

3 収支状況（単位：千円）注：千円未満を切捨てているため、合計は一致しません。

	収 入 額			支出額	収支差額
	指定管理料	利用料金 (前年同月料 金額)	その他収入		
年間予算額	21,534	16,351	5,183	21,534	0
上半期計 (a)	12,266	7,899	4,367 (4,556)	10,895	1,371
下半期計 (b)	10,074	8,452	1,622 (1,881)	11,215	△1,141
10月	1,393	1,055	338 (338)	1,491	△98
11月	1,478	1,066	412 (433)	1,335	143
12月	2,999	2,584	415 (340)	2,886	113
1月	1,211	986	225 (336)	1,353	△142
2月	1,186	1,072	114 (136)	1,415	△229
3月	1,807	1,689	118 (298)	2,735	△928
合計 (a+b)	22,340	16,351	5,989	22,110	230

- 1 指定管理者の収入を記載する（県の収入である「使用料」は含まない）。
 2 「その他収入」は、都市公園の駐車場収入、雑収入、寄付金収入など指定管理料と利用料金以外のすべての収入を記載する。

収支状況に関する意見等

- ・半期計欄の収支差額が、収入額又は支出額のうち低い方の額の1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。
- ・また、収支差額に1割以上プラスが生じた主な理由が、人件費の削減である場合は、年度協定における人員配置計画と比較し、合理性が認められるか否かを記載する。
- ・年間予算額の収支が均衡していない場合は、その理由を記載する。

該当なし

(今期に行った資本的な収入及び支出の状況)

	内容	金額(千円)
収入の状況	該当なし	
支出の状況	該当なし	
積立等の状況	該当なし	(期首)
		(期末)

収入の状況：定期預金の取り崩し、借入れによる収入があった場合等は、その旨を必ず記載する。
 支出の状況：車両の購入、施設の増改築、また定期預金の積み立てを支出に含めた場合等は、その内容を必ず記載する。
 積立等の状況：積立・借入れ等がある場合は、その内容（施設の増改築のための積立・借入れ、定期預金等）、当該期首及び期末の金額を必ず記載する。

4 利用状況

	利用者数	前年同月利用者数	前年対比増減率
上半期計 (a)	7,677 人	7,357 人	4.3%
下半期計 (b)	4,132 人	4,203 人	△1.7%
10月	862 人	779 人	10.7%
11月	1,125 人	1,104 人	1.9%
12月	774 人	531 人	45.8%
1月	583 人	568 人	2.6%
2月	387 人	458 人	△15.5%
3月	401 人	763 人	△47.4%
合計(a+b)	11,809 人	11,560 人	2.2%

利用状況に関する意見等

〔半期計欄の前年対比増減率が、1割以上プラス又はマイナスとなっている場合は、その理由を分析し記載するとともに、必要な場合は、対応策も併せて記載する。〕

該当なし

5 苦情・要望等の状況

(施設受付分)

報告月	口頭		文書			合計
	対面	電話	手紙	メール	アンケート	
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	1	0	0	0	0	1

(施設所管課受付分)

報告月	口頭	文書	合計
10月	0	0	0
11月	0	0	0
12月	0	0	0
1月	0	0	0
2月	0	0	0
3月	0	0	0

6 特筆すべき苦情・要望等及び対応状況

〔類似の苦情や要望が多く寄せられたもの、苦情や要望をもとに対応した取組みが利用者に評価されたもの、苦情や要望のうち対応したいと考えるが、諸般の事情により対応できないものなどを記載する。〕

該当なし

分野	概要	対応状況
施設・設備	・	
	・	
職員対応	・	
	・	
事業内容	・	
	・	
その他	・	
	・	

7 事故や不祥事等の発生状況

利用者や職員が死傷した場合、業務の実施において法令違反等による指導や処分を受けた場合及び個人情報や公金の管理等において不適切な取扱い等があった場合は、その概要と対応状況を記載する。なお、利用者の死亡事故や個人情報の流出等、重大な事故や不祥事が発生した場合は、県庁改革課に任意の様式により速やかに報告書を提出する。

該当なし

発生日	概要・対応状況等
月 日	
月 日	

8 随時モニタリングの実施状況

事故や不祥事の発生等に伴い、施設所管課が随時モニタリングを実施した場合は、調査内容や結果を記載する。

該当なし

実施日	対応者等	経緯・調査内容	調査結果
月 日			
月 日			

9 上（下）半期の所見等

1～8の各項目の状況等を踏まえ、指定管理業務をより効果的・効率的に推進する観点から、反省点や改善策等を記載する。

指定管理者

クライミング施設は、上半期と同様に増加しており、固定利用者の占める割合が高くなっております。このため10年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいますが、利用者に不便をきたさないよう施設の整備に迅速かつ万全を期して維持管理に努めております。

施設所管課

上半期に引き続き秦野戸川公園、ビジターセンター、県山岳連盟と連携し、利用促進に向けた努力が図られ、昨年度と同程度の利用者数があったため、利用者サービスの提供は一定水準で保たれていると考えられる。
また、施設の維持管理についても利用者に不便をきたさないような整備がなされており、全体として適正な管理運営が行われていると考える。